

取 扱：本資料の配布を持って解禁とする

平成28年度千曲川河川事務所事業の概要について

平成26年1月に策定された「信濃川水系河川整備計画」に基づき、千曲川及び犀川において平成28年度に以下の事業を実施します。

(事業のポイント)

1 河川改修関係 H28事業費：1,477百万円（工事諸費を除く）

流下能力が不足している箇所では洪水を安全に流下させるため、戸狩地区の河道掘削、弱小堤区間の堤防整備を実施します。また、平成28年度より新たに国分地区・小立野地区の堤防整備に着手します。

- ・ 狭窄部区間：飯山市 戸狩地区 河道掘削
- ・ 弱小堤区間：長野市 屋島地区 堤防整備
- 須坂市 福島地区 堤防整備
- 上田市 国分地区 堤防整備（平成28年度より着手）
- 生坂村 小立野地区 堤防整備（平成28年度より着手）

2 河川維持修繕関係 H28事業費：1,110百万円（工事諸費を除く）

千曲川及び犀川・梓川の河川管理施設等の点検・維持管理及び修繕を行います。

3 河川環境整備関係 H28事業費：105百万円（工事諸費を除く）

千曲市 戸倉地区において、砂礫河原の保全・再生を実施します。

4 ダム事業関係 H28事業費：204百万円（工事諸費を除く）

既設ダムを有効活用し、治水機能の向上及びその機能維持を図る「大町ダム等再編事業」について、引き続き実施計画調査を進めます。

【 問い合わせ先 】

国土交通省 北陸地方整備局 千曲川河川事務所

副所長（技術） 長谷川 賢市

調査課長 西出 保

電話 026-227-7611（代表）

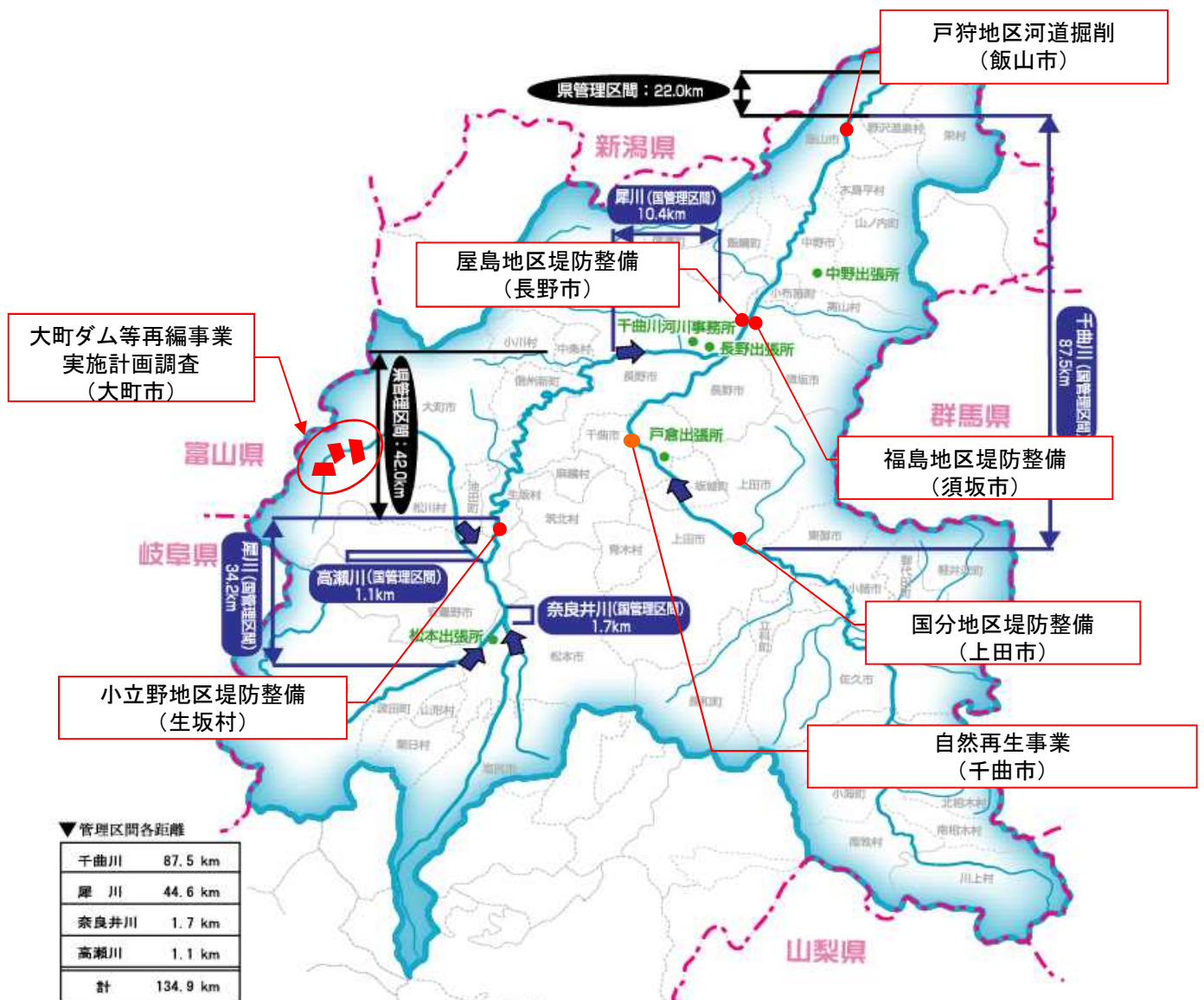
<http://www.hrr.mlit.go.jp/chikuma/>

1 千曲川河川事務所の事業方針

千曲川・犀川は地域の大切な宝であることを常に意識し、治水安全度の低さや豊かな河川環境、川に対するふるさとの想いを念頭に置き、地域と連携しながら以下の方針で事業を進めます。

- ◆人々の生命・財産を災害から守るために全力を尽くす。
- ◆千曲川・犀川の自然環境を大切にし、詩情豊かで潤いのある川づくりを推進する。
- ◆河川の整備と管理を通じ、活力ある地域づくりの実現に貢献する。

2 平成28年度 実施予定箇所 位置図



千曲川 河道掘削の推進 長野県飯山市（戸狩地区）

H28事業費
1,477百万円※

※千曲川河川改修事業のH28全体事業費（工事諸費を除く）

事業の概要

千曲川直轄管理区間下流端に位置する飯山市戸狩地区は狭窄部となっており、洪水の安全な流下に必要な断面が不足しており、洪水時には水位上昇により計画高水位を超過し、堤防が決壊する危険性が生じています。昭和57年洪水、同58年洪水では堤防が決壊し、甚大な被害が発生しました。また、平成18年の洪水でも浸水被害が発生したことから、平成23年度より戸狩地区の河道掘削を実施しています。

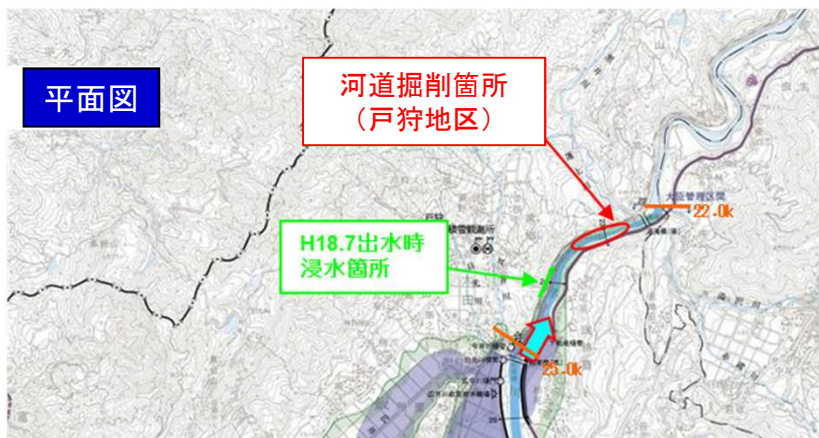
また、平成27年9月関東・東北豪雨を受け、策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」※の取組における「洪水を安全に流すためのハード対策」の一環としても、引き続き河道掘削を推進します。

整備効果

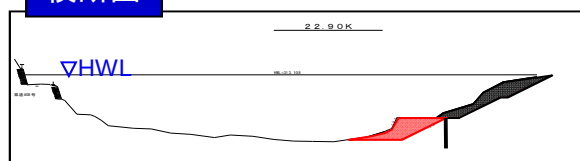
河道掘削の実施により、洪水時の水位が低減され、洪水に対する安全性が向上します。

平成28年度の事業内容

戸狩地区で河道掘削を推進し、事業を完成させます。



横断面図



※「水防災意識社会 再構築ビジョン」

- 平成27年9月関東・東北豪雨を受け、平成27年12月10日に社会資本整備審議会会長から国土交通大臣に対して「大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方について～社会意識の変革による「水防災意識社会」の再構築に向けて～」が答申されました。
- 答申を踏まえ、国土交通省では平成27年12月11日に新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」を策定し、全ての直轄河川とその沿江市町村（109水系、730市町村）において、平成32年度を目途にハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進し、水防災意識社会を再構築する取り組みを行うこととなりました。
- 詳細は右記にてご覧いただけます http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000899.html

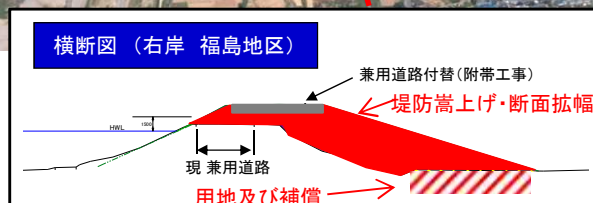
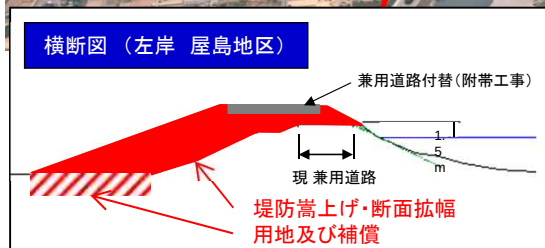
H28事業費
1,477百万円※

事業の概要

堤防決壊による浸水被害を防止するため、平成27年9月関東・東北豪雨を受け、策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」※の取組における「洪水を安全に流すためのハード対策」の一環として、堤防整備を行うものです。

整備効果

平成28年度の事業内容



- 平成27年9月関東・東北豪雨を受け、平成27年12月10日に社会資本整備審議会会長から国土交通大臣に対して「大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方について～社会意識の変革による「水防災意識社会」の再構築に向けて～」が答申されました。
- 答申を踏まえ、国土交通省では平成27年12月11日に新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」を策定し、全ての直轄河川とその治川市町村（109水系、730市町村）において、平成32年度を目途にハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進し、水防災意識社会を再構築する取り組みを行うこととなりました。
- 詳細は右記にてご覧いただけます http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000899.html

千曲川 堤防整備の着手

長野県上田市(国分地区)

H28事業費
1,477百万円※

※千曲川河川改修事業のH28全体事業費(工事諸費を除く)

事業の概要

千曲川の右岸上田市国分地区の堤防は、高さや断面が不足しており、洪水により堤防が決壊した場合、甚大な被害が発生するおそれがあります。

堤防決壊による浸水被害を防止するため、平成27年9月関東・東北豪雨を受け、策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」※の取組における「洪水を安全に流すためのハード対策」の一環として、堤防整備を行うものです。

整備効果

堤防整備を行うことで、堤防の強化が図られ、国分地区の洪水に対する安全性が向上します。

平成28年度の事業内容

国分地区において、用地取得に着手します。

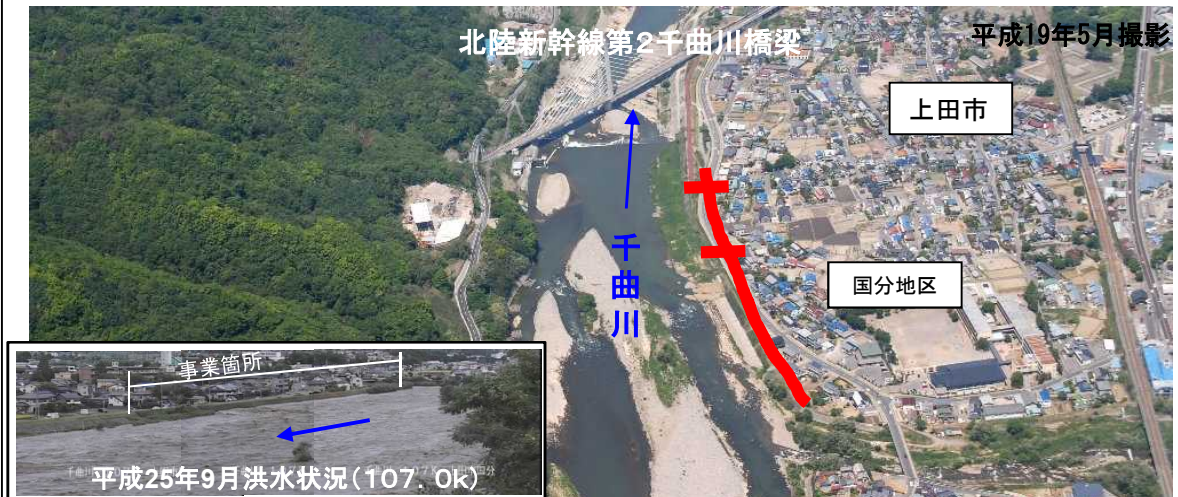
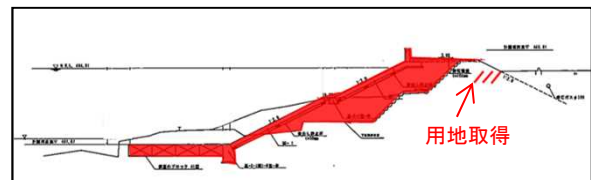
位置図



平面図



標準断面図



※「水防災意識社会 再構築ビジョン」

- 平成27年9月関東・東北豪雨を受け、平成27年12月10日に社会資本整備審議会会長から国土交通大臣に対して「大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方について～社会意識の変革による「水防災意識社会」の再構築に向けて～」が答申されました。
- 答申を踏まえ、国土交通省では平成27年12月11日に新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」を策定し、全ての直轄河川とその沿江市町村(109水系、730市町村)において、平成32年度を目途にハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進し、水防災意識社会を再構築する取り組みを行うこととなりました。
- 詳細は右記にてご覧いただけます http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000899.html

^{さい}犀川 堤防整備の着手 ^{ながの} ^{ひがしちくまぐんいくさか} ^{おだつの} 長野県東筑摩郡生坂村(小立野地区)

H28事業費
1,477百万円※

※千曲川河川改修事業のH28全体事業費(工事諸費を除く)

事業の概要

千曲川支川犀川の右岸東筑摩郡生坂村小立野地区の堤防は、高さや断面が不足しており、洪水により堤防決壊や越水が発生した場合、浸水被害が発生するおそれがあります。平成18年7月出水時には、上流ダム群の特例操作により、越水被害を回避したものの危険な状況となりました。

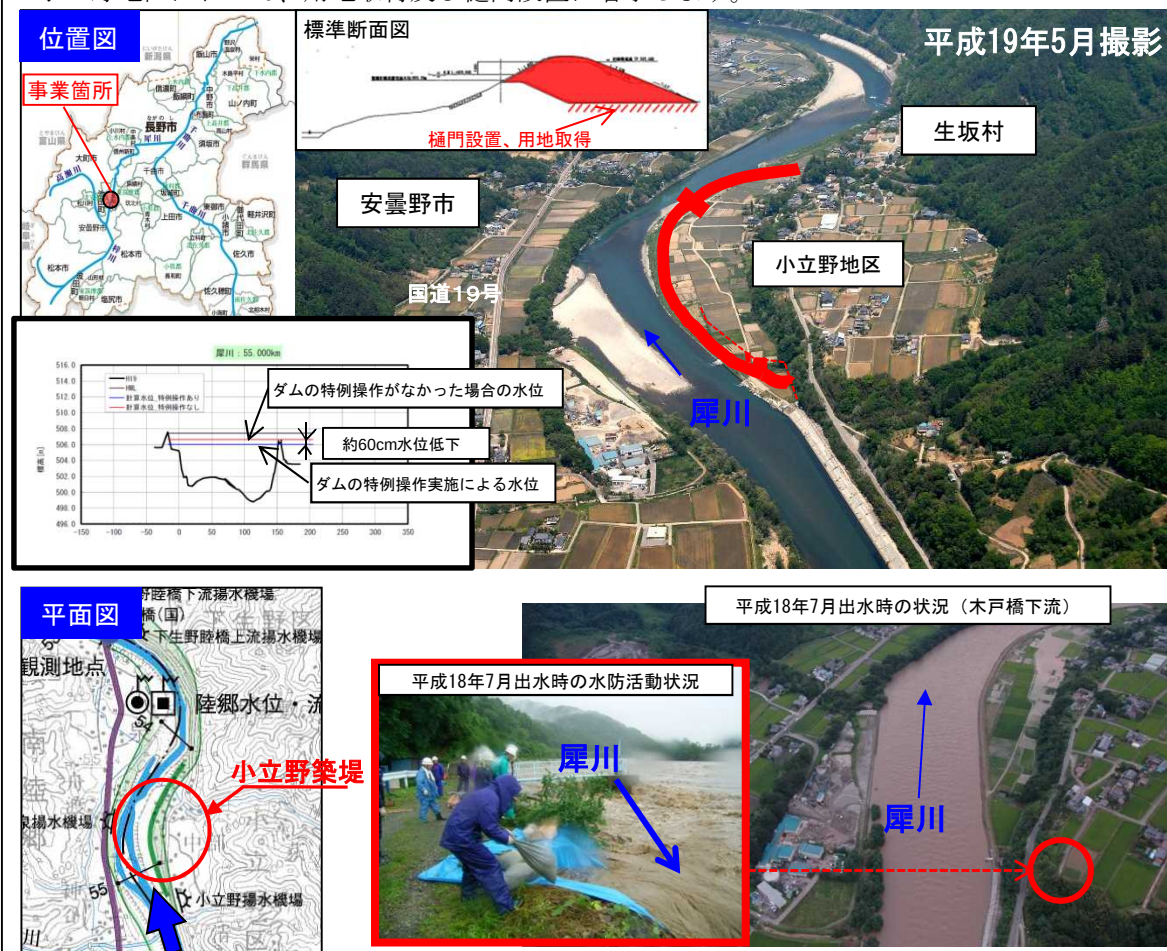
堤防の決壊や越水による浸水被害を防止するため、平成27年9月関東・東北豪雨を受け、策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」※の取組における「洪水を安全に流すためのハード対策」の一環として、堤防整備を行うものです。

整備効果

堤防整備を行うことで、堤防の強化が図られ、小立野地区の洪水に対する安全性が向上します。

平成28年度の事業内容

小立野地区において、用地取得及び樋門設置に着手します。



※「水防災意識社会 再構築ビジョン」

- 平成27年9月関東・東北豪雨を受け、平成27年12月10日に社会資本整備審議会会長から国土交通大臣に対して「大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方について～社会意識の変革による「水防災意識社会」の再構築に向けて～」が答申されました。
- 答申を踏まえ、国土交通省では平成27年12月11日に新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」を策定し、全ての直轄河川とその沿江市町村(109水系、730市町村)において、平成32年度を目途にハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進し、水防災意識社会を再構築する取り組みを行うこととなりました。
- 詳細は右記にてご覧いただけます http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000899.html

ちくまがわ
千曲川 自然再生事業の推進
ながの ちくま とぐら
長野県千曲市（戸倉地区）

H28事業費
105百万円※

※工事諸費を除く

事業の概要

千曲川では、砂利採取等による河床低下によって低水路と高水敷の高低差が拡大し、礫河原および湿性植物群落が増加する反面、アレチウリ、ハリエンジュ等の外来種が侵入・拡大し、もともと千曲川に生息する在来種の生息環境が減少・悪化しています。本事業は河道掘削を進めることで礫河原および湿性植物群落の再生と流下能力の向上を図ります。

整備効果

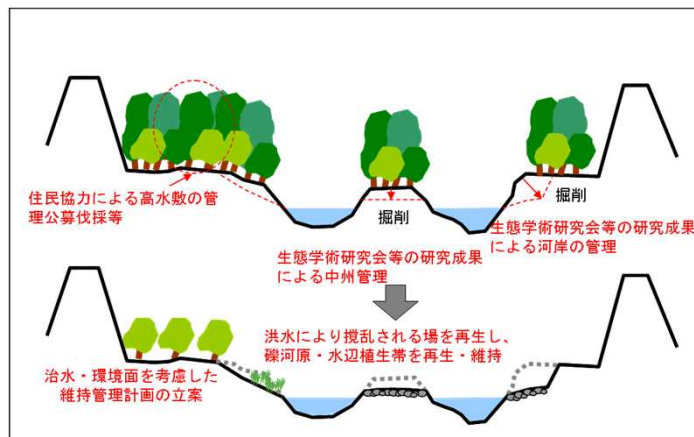
礫河原礫河原および湿性植物群落の再生を進めることで、河川特有の多様な生息地が形成されるほか、アレチウリ等の外来種の繁茂が抑制され、生物の多様性が増大します。

平成28年度の事業内容

千曲市戸倉地区において、礫河原の再生（河道掘削）及びモニタリング調査を推進します。



平成26年度自然再生事業により砂礫河原が再生した箇所（千曲市戸倉地先）



冠水頻度を高める河道掘削のイメージ



おおまち 大町ダム等再編事業 ながの おおまち 長野県大町市

H28事業費
204百万円※

※工事諸費を除く

事業の概要

本事業は、平成16年、18年と大規模な洪水により浸水被害が発生している千曲川の治水対策のため、高瀬川の既設ダムの容量を活用し、洪水調節機能を強化するもので、平成27年度から実施計画調査を進めています。

具体的には、既設の高瀬ダム・七倉ダム（発電専用ダム）の発電容量の一部と、大町ダム（多目的ダム）の水道容量の一部を洪水調節容量として新たに確保することにより、下流の洪水流量をさらに減少させるものです。

また、高瀬ダム・七倉ダムへの洪水調節機能の追加にあわせて、長期に安定的にダムの機能が確保されるよう、流入土砂対策を行うことも検討しています。

- 目的 ・洪水調節（犀川、千曲川、信濃川の洪水防御）
- 概要 ・既設ダムを活かした洪水調節機能の確保
(既設ダムの容量振り替え、土砂搬出施設の整備)

平成28年度の事業内容

施設検討、環境調査 等を実施する予定です。

